

アミカホールから考える「芸術と教育」

草津アミカホール館長

澤 孝子

その大きな身体の両足を踏んばり、眉間を一杯に広げ、鼻から頭上へと右手を誇示しながら発せられる太くて美しい声は教室を包みこみ私の身体の中まで響き入った。当時、私の担任だった先生の姿が昨日のことのよう目に浮かびます。音楽の授業だけでなく、先生に指導いただいた合唱団の練習に励んだ学校生活がいかに充実していた日々だったか、私の原点です。

私はこれまでに沢山のアーティストとの出会いがありました。「あの時、あの出会いがあったから今の自分がある。もし、その出会いがなかったら、今はなかったかもしれない」その先生方よりよく聞かせていただくフレーズです。

草津アミカホールは平成23年度より指定管理者として私たち公益財団法人草津市コミュニティ事業団がお預かりしています。私達が大切にしています一つがこの出会いの「場」の提供、きっかけづくりです。特に未来を担う子ども達が気軽に舞台芸術に触れ、体験できるアウトリーチ事業ではアーティストと共に子どもたちの表現力や想像力、コミュニケーション能力を養い、創造性や個性を伸ばしていく（きっかけ）としていくもので、劇場の大切な役割と考えています。

今年度も草津市公立幼稚園5歳児のつどい「草津子ども文化芸術祭」の音楽劇の公演をはじめ、草津小学校、草津第二小学校ほか、ホール鑑賞会「アミカで会いましょう」など、ホールの中で、そして外で沢山の子どもたちのとの出会いがはじまっています。

わずか数年前はアーティストが教育現場に入っていくことが難しい時代。私自身もそんな壁にぶち当たったこともありました。それでも学校の先生もアーティストも支援側である私達劇場も「可能性の卵たち」への思いは一つ。その思いが壁を動かしました。今では教育現場への芸術アウトリーチはそれぞれのプログラムに、それぞれの学校で成果が見え始めています。文化コーディネーターとしての劇場の大切な使命、新たな使命を感じる今日です。5年生の時に感じた私の原点、可能性の卵たちがそんな原点を見つけてくれたら・・・そんなお手伝いをアミカホールはしたいと感じているのです。



アミカホールは、

アーティストのコーディネートや派遣。体験型のワークショップの企画、制作などアミカホールならではの独自プログラムを開発しています。（ホール探検・音楽・演劇・ダンス・コミュニケーションワークショップ等、気楽にご相談ください。Tel：561-2345）

リーダーシップとマネジメント

Management is nothing more than motivating other people.

マネジメントとは、人をやる気にさせる以外の何ものでもない。(リー・アイアコッカ)

草津市立高穂中学校長 北川 健

マネジメント＝(イコール) 管理、経営だから管理職等がするものという捉え方もあります。しかしながら、本来はリーダーシップとマネジメントは、私たち教職員一人ひとりが意識し、身に付けなければならない能力です。(研究所だより第83号)

ピーター・ドラッカーによるとマネジメントは、人と人が成果を上げるもので、人こそが最大の資産であると述べています。また、「マネジメントとは、人(子どもたち)をやる気にさせる以外の何ものでもない。」というアイアコッカの言葉にもあるように、個人(子ども)の能力を伸ばすことで、組織(学校)に貢献して成果が上がるものといえます。

したがって、マネジメントなくしては学校の活性化はありえません。では、活性化させるためのマネジメントとは一体どのようなものでしょうか。また、子どもたちをやる気にさせる方策とは。

その手立てが、教育研究所が作成された「明日につながる教師の道しるべ(スキルアップ支援講座資料)」の中に紹介されています。見られた方も多いと思いますが、パラパラと見ただけでも、子どもをやる気にさせるための基礎・基本など、教師の目の付け所がわかりやすくコンパクトにまとめられていて、マネジメントのヒントが満載されています。

スキルアップ支援講座資料

明日につながる
教師の道しるべ



草津市立教育研究所
スキルアップアドバイザー

一方、マネジメントを果たすためには、リーダーシップも当然必要となります。ドラッカーは、リーダーについて、特有の資質はない。またカリスマ性も神秘性も不要だと述べています。つまり、誰もがリーダーにならなければならないし、リーダーであることを常に自覚しなければいけないといえます。

その上で、ドラッカーはリーダーシップについて、次の3点を上げています。

- ①リーダーは職業として捉える。
- ②リーダーシップを責任と捉える。
- ③リーダーは信頼を得られる人になれ。

では、子どもたちをやる気にさせるために、リーダーシップを私たち教師はどのような場面で、どのように発揮すればいいのでしょうか。

それについても、「明日につながる教師の道しるべ」の中に、紹介されています。

最初に、「本気の姿勢」「元気な笑顔」「向上しようとする姿勢」等、教師の8つの姿勢という表現でリーダーとしてのあるべき姿を示しています。この他にも、この冊子には子どもが輝く学校教育を充実させるために方策が多く紹介されているので、ご覧になっていない方はご一読ください。

また、教師がリーダーシップを発揮する上で、TPOを大切にしてほしいと思います。

- T**ry まずやってみる
- P**lay (恥ずかしがらずに) 演じてみせる
- O**ption 引き出しを多く持つ

今こそ考える「ゆとり」教育

草津第二小学校 木村 学

草津第二小学校では、今年度、エレベータ設置工事の関係で、運動会は6月開催となり、5月から組み体操の練習が始まりました。毎年、高学年69人の作る『大ピラミッド』が運動会のフィナーレを飾ります。

フィナーレのそれぞれのパートは、子どもたちの話し合いによって休み時間、給食準備のわずかな時間等も使い、真剣に決めていきます。話し合いですぐに決まる場合もあれば、話し合いにつぐ、話し合いでも決まらない場合もあります。最終的にはお互いの言い分を聞き合い、ゆずり合いながら、それぞれで「おりあい」をつけて決定していきます。私はこのことが、子どもたちが「社会への生き方」を学んで、体得していることを確信するのです。

子どもたちは何かと忙しい日々を送っています。週の何日も遅くまで習い事等で頑張っている子どもたちもたくさんいます。友だちや家庭のことで悩んでいる子どもたちも少なくありません。そのような中で、自分以外の事に意識を向け、気にかけることのできる子どもたちが何人いるのでしょうか。

「子どもと子どもをつなぐ」、「子どもに一つのことをじっくり取り組ませる」ための「ゆとり」に時間をあてること。思い切って、週のある日の午後すべてを友だちと語り合う時間にする、教師と話ができる時間にする。週の日のある日の午後を、クラブ活動の日にして思う存分クラブ活動に没頭する等々。あらためてこのような学校での「ゆとり」の時間が必要に思えてなりません。

わたしは「ゆとり」から生まれる「心の余裕と豊かさ」が、「他者への優しさ」や「自ら学ぼうとする意欲」につながるのではないかと考えています。「ゆとり」への見直しが言われている中で、これが国際社会で活躍していく、次世代を育てる教育カリキュラムとして位置づけ、新しい学校創造ととらえ直していく必要があると思うのです。常に子どもたちと次世代を見据えてのチャレンジを忘れないでおこうと思っています。

Thanks Letter from 初任者

先生お元気ですか。小学校6年生のときに担任していただいたときは、大変お世話になりました。この春から私も小学校教員として働かせていただいております。先生にもそのことを報告させていただきたいと思い、この手紙を書くことにしました。

私が教師を目指す直接のきっかけとなったのは、不登校となり学校を去っていった友だちとの出会いからでした。そのため、今私は子どもが「明日も来たいと思う教室」をつくることを目標にしています。

毎日子どもと楽しい日々を送っています。そのような日々の中で、自分が6年生のときは本当に学校に行くことが楽しみだったことをよく思い出します。

先生が楽しんで勉強を教えてください、何十枚もの学級通信をつくってくださったりしたことを今でも覚えています。またどこかでお会いできることを楽しみにしています。本当にお世話になりました。

「先生」になった今、その思いを
今までお世話になった方や、
心に残る思い出の人へ、手紙形式で
つづっていただきました。



志津南小学校 大西 謙司

やまびこだより



やまびこ農園
収穫のよろこび 感じています。



毎月恒例の 課外活動 6月は.....

6月21日(金) 適応指導教室のみんなで市立図書館に行き、それぞれ好きな本を借りその後、たこ焼きを買いました。雨の中の体験でしたが、適応指導教室の生徒7名の参加がありました。



サマースクール

日時は.... 第1回目 7月26日(金) 第2回目 8月19日(月)

どちらも、午前の部と午後の部の2回ずつ、合計4回実施します。

午前の部：10時00分～12時00分 午後の部：13時30分～15時30分

内容は.... 第1回目：プチホットケーキ作り、室内レクリエーション

第2回目：万華鏡作り、室内レクリエーション

詳しくは、お知らせ(案内パンフ)を、ご覧ください。
質問等は、研究所「西澤」「公文」「松尾」まで....

スキルアップ支援講座

活用しています・明日につながる教師の道しるべ

昨年スキルアップ支援講座の資料として「明日につながる教師の道しるべ」を冊子として受講者に配布しました。

この冊子には33項目の指導力アップのヒントが掲載されています。活用事例を紹介します。



・特に四月からの新学期からの学級経営を考えるにあたり参考にさせていただきました。

P30 効率的な仕事術のページにあるように「時間を有効に使うこと」を目標に今年度は、

- ①早起し、帰宅時刻を先に設定することで、仕事を集中する。
- ②朝、黒板に「一言メッセージを板書する。」という二つを毎日続けることに励んでいます。

残念ながら今年度は受講していませんが、2年間教えていただいたことを今後の教師生活に生かしていきたいです。

・昨年度末にいただき、職員室の机に常に置いてあります。行き詰った時や学習通信を書く時に読み返しています。ついこの前は、当初面談の自己目標シートづくりのヒントになりました。

今年度は、地域・保護者との連携や信頼関係づくりを進めていこうと考えています。具体的には、①地域の行事に年3回以上参加します。②地域の教育力活用をめざすために、保護者の方を通して講師を紹介していただき読み物資料「いっしょにやろうよ。」で男女共同参画の学習を進めます。(P25やP28)

・明日につながる教師の道しるべには、教師として日々子どもたちと接していく上でのポイントが非常にわかりやすく記されています。その中でも私が特に参考にさせていただいたのが、ICT(電子黒板・・・P16)についての記事です。私は本校に勤務してから、英語の授業において視覚的な子どもへの支援を第一に考えて電子黒板を取り入れるようになりましたが、自分の授業を円滑に行なうための知識伝達の手段としてしか使えていないことに気づきました。私の授業では教材を必要に応じて提示しているだけで、英語を苦手としている生徒の支援としての活用、子どもの思考を深める活用ができていないことを、この冊子を読んで気づいたのです。

私自身、まだまだ電子黒板を十分活用しきれておらず、今回の気づきをきっかけに、英語を苦手としている子どもの学習意欲を高める活用ができるようにこれからも研究したいと考えています。

「ぼくのこと 分ってほしい・・・」

滋賀大学教育学部附属特別支援学校 副校長

巡回相談のときの話です。ある学校で小学5年生の5人の子どもたちが週2～3回漢字の個別指導を受けていました。子どもたちはWISC-III(当時)の結果などから知的には年齢相応の力がありますが、学年相応に漢字の習得が困難でなかなかおぼえられない、漢字の間違いがなかなか改善しない、など結果が出ないので、相談を受けました。

WISC-IIIの言語性、動作性といわれる項目の傾向から、2つの学び方のグループに分けて指導してもらいました。①は漢字の「偏と旁」などの組合せで意味を整理し、形の組合せで捉えるようにしました。②は「書き順」で漢字の形と意味を学びました。具体的な教材も一部ありましたので「数え歌」風に指導してもらいました。1ヶ月ごとに進捗状況を確認しつつ、半年が経つ頃には、個別指導を卒業し自分たちで漢字学習に取り組むようになりました。

この話からいろいろと整理したいと思います。漢字(ことば)の習得には、「意味の理解」「音韻(読み)」「形態(形)の把握」の3領域のバランスが重要だといわれます。この3つのどれが得意で苦手なのか把握することが重要です。ルビを振って漢字の混じった文章を読みきくことで漢字や文の意味に興味を持ち、話しの中でそれを使用し、最後に「書ける」になったり、偏と旁の組合せや漢字の形に興味を持ち、その組合せで意味を整理したり、読みを調べたりして、読めるようになり、どんどん漢字の理解が深まります。しかし、どれも意味の理解が曖昧で不確かだと形態や音韻を把握していても習得には繋がっていきません。

もう一つは、「同時処理(パッと一度に物事を処理していく)」と「継次処理(順番に物事を処理していく)」という学び方の違いがあります。多くの人は、課題によって使い分けことができますが、どちらかが苦手な一方の学び方で学習しているタイプがあります。今回の学習グループはこのタイプで2つに分けました。①のグループは同時処理②は継次処理です。自分に合う学び方が見つかると、それで学習する手応えが持てれば「卒業」になります。学び方が合うと漢字にも興味が出てきて意欲的に学習するようになり、漢字の習得にそれなりの結果が出ると積極的に取り組むようになりました。

このように、先生の教え方ではなく、その子の学び方のタイプを見つけること、文字習得のどの領域が得意なのか苦手なのか見極めていくことが効果的な支援や学習方法につながると思います。現在はいろいろと関連する教材がでていきますので参考にされるといいかと思います。


今日から使える特別支援 Goods


老上中学校 通級指導教室 田中詩子







…老中での支援や工夫あれこれ…

前回、岩本先生が紹介されていた「リコーダーが演奏しやすくなる方法」、私も支援学級で試しました。私は、スポンジタイプの隙間テープを輪に切って貼り付けました。なかなか効果的でしたが、この方法は剥がした後のベタベタを取るのに一苦労。木工用ボンドなら安心な上、目立ちにくいのも◎ですね。

今回は、老中での支援あれこれを紹介します。

- ① 各担任に配布された『ポイントカードセット』(支援員さん作成)。授業の流れ、教科書、等のカードがセットされ、必要に応じて使用。色違いの矢印が欲しいという個別オーダーもあり、各教科で使いやすいものに発展していくといいなと思います。
- ② 『いつも通り一覧表』と『ロッカーに置いてもOKなもの』一覧表。教室に貼られています。生徒の様子や保護者の要望から作られました。
- ③ 美術などの製作では、『タイムタイマー』(残り時間が量的にわかる時計)が、かなり使えるそうです。作業の切り替えもしやすくなったとか。お試しください。

 **いつも通り一覧表**

国語	辞書・便覧	
数学	なし	
地理	地図帳・資料集 ※	
歴史	資料集 ※ワークは持ってこなくてよい	
理科	資料集・はさみ・のり	
英語	ファイル・辞書	
美術	①教科書②資料集③スケッチブック(3点セット)	
体育	①ファイル②ノート③保健体育の教科書 ④図解体育(4点セット)	
技術	教科書・ファイル・資料集・ワーク	
家庭	教科書・ファイル	
音楽	教科書(上・下・器楽)・アルトリコーダー スクールデイズ・ファイル	

★家庭学習で必要だと判断したものは、その都度持って帰るようにしましょう。

集

2013年度



草津市教職員夏期研修講座

参加申込は、学校単位でお願いします。

7月10日(水)が、提出期限となっています。

※詳細については、先に送られている一覧をご覧ください。

7/22 (月曜日)

AM: **学力向上推進講座1** → 【これからの道徳教育】 講師: 県教委学校教育課 上原 忠士さん

PM: **生徒指導講座1** → 【法規が 子どもを 先生を そして学校を守る!】

講師: 京教大大学院連合 教職実践研究科 竺沙 知章さん

7/23 (火曜日)

AM: **人権教育講座1-1** → 【人権教育の新しいステージへ】 講師: 大阪府松原市立布忍小学校

PM: **人権教育講座1-2** → 【午前の内容と同じです】

矢野 智史さん

7/24 (水曜日)

AM: **人権教育講座2-1** → 【人権教育の新しいステージへ】

講師: 大阪府松原市立松原第三中学校

PM: **人権教育講座2-2** → 【午前の内容と同じです】

森山 伸治さん 向井友美絵さん

7/25 (木曜日)

AM: **特別支援教育講座** → 【発達障害の子どもたちの理解と支援】

講師: 大阪キッズ相談室 井川百々代さん

PM: **教育相談講座1** → 【アセスメントからプランニングへ】 講師: 臨床心理士 生天目 聖子さん

7/29 (月曜日) 教育研究所 研究発表大会

AM: **教育講演会** → 【津波刻む未来への文集『いのち』から】

講師: 岩手県花巻市立八幡小学校 佐々木 力也さん

PM: **H24 研究奨励論文発表会 (H25 論文応募者中間交流会)** → 【I: 小中学校の部 / II 就学前教育部門】

7/30 (火曜日)

AM: **教育相談講座2** → 【不登校・長期欠席が起こりにくい学校風土づくり】

講師: 国立教育政策研究所 藤平 敦さん

PM: **くさつ教員塾2 (音楽教育)** → 【すぐにやってみたくなる音楽科の授業】

講師: 野洲市立祇王小学校 佐敷 恵威子さん

7/31 (水曜日)

AM: **生徒指導講座2** → 【いじめを許さない学級・学校づくりに向けて】

講師: 県教委学校教育課 太田 雅之さん

PM: **くさつ教員塾1 (理科教育)** → 【草津川の上流を探検しよう!】

講師: 市内CST教員/松原中学校 尾関 大応さん

8/1 (木曜日)

AM: **環境教育講座** → 【木をはかる、森をはかる】 講師: 琵琶湖博物館 林 竜馬さん

PM: **学力向上推進講座2** → 【タブレット活用術】 講師: 渋川小学校 / ICT支援員

8/21 (水曜日)

PM: **くさつ教員塾3 (幼児教育)** → 【心も体もノリノリ、表現がみるみる広がる】

講師: 佛教大学教育学部 高見 仁志さん



新しいものにすこしふれて、
自分自身をふり返ってみませんか?
この夏休みに.....

第3回草津市教職員夜間自己啓発講座

8月19日(月) 19:00~21:00

【お話を絵にするってどうするの?】

滋賀大附属小 山田和美さん

詳細は、後日連絡します。